

2026年4月9日

各位

株式会社池田泉州銀行

イノベーション京都 2026 投資事業有限責任組合 （「KYOTO-iCAP3 号ファンド」）への出資について

株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 阪口 広一）は、今般、京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）が設立した「イノベーション京都 2026 投資事業有限責任組合」（以下「KYOTO-iCAP3 号ファンド」）に出資参画いたします。

京都 iCAP は、これまでも 2016 年設立のイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）、2021 年設立のイノベーション京都 2021 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP2 号ファンド」）を通じて、京都大学や国立大学の研究成果の実用化を目指すスタートアップを支援してきました。

KYOTO-iCAP3 号ファンドにおいても、KYOTO-iCAP1 号ファンドおよび KYOTO-iCAP2 号ファンドでの支援と同様に、京都大学及び国立大学発スタートアップに初期段階から投資を行うことで、支援先の経営ステージを進展させ、さらなる成長加速に繋げることが企図されています。

池田泉州ホールディングスグループは、従前より、京都大学および京都 iCAP とは密に連携しており、子会社の池田泉州キャピタル株式会社（以下「SIC」）が運営するスタートアップ向け投資ファンドが、京都 iCAP が運営するファンドとの間で、多様な分野における協調投資を行ってきているほか、2024 年 1 月には、SIC が京都 iCAP との間で、アカデミア発ベンチャー企業への支援強化に向けた連携協定も締結しています。さらに、当行が 2003 年以來、20 年以上にわたり運営している独自の助成金制度においても、京都 iCAP の投資先をはじめとする京都大学発スタートアップ等への支援を行っております。

当行は、今後も京都大学や京都 iCAP とともに連携しつつ、大阪・関西地域におけるイノベーション創出を積極的にサポートし、地域の皆様とともにイノベーション・エコシステムの活性化に取り組んでまいります。

<KYOTO-iCAP3 号ファンドの概要>

名称：イノベーション京都 2026 投資事業有限責任組合

投資対象：京都大学や国立大学の研究成果の実用化を目指すスタートアップ及びそれらに投資する投資組合等

無限責任組合員（GP）：京都大学イノベーションキャピタル株式会社

有限責任組合員（LP）：株式会社池田泉州銀行をはじめとする金融機関および大手事業会社

予定出資約束金額：最大 200 億円

存続期間：15 年（2 年延長あり）

<京都 iCAP の 2026 年 3 月 16 日付ニュースリリースへのリンク>

<https://www.kyoto-unicap.co.jp/topics/4851/>

以上